

自然共生型農業研究シンポジウム2018

＜開催趣旨＞

本シンポジウムでは、内閣府の主催するSIP（「次世代農林水産業創造技術」・『持続可能な農業生産のための新たな総合的植物保護技術の開発』）における農薬を使わない「ジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」チームの5年間の研究成果を紹介する。

同時に、農業現場に役に立つ土壌微生物分析技術の開発や、光環境の制御を通じた有用微生物の農業利用、「科学的な土づくり」や「作物・農産物のための新たな健康診断・品質管理」を目的としたフィールドメタボロミクス等の研究を活発に展開している先進的な研究者を招待し、化学物質に依存しない病害防除や微生物制御技術等の知見紹介の場を提供することを目的とする。

日時：平成30年10月22日（月）10:00～17:00（開場9:15～）

場所：つくば国際会議場 3階 中ホール300

（茨城県つくば市竹園2丁目20-3 電話：029-861-0001）

シンポジウム：参加費無料（定員 300名）、参加申込締切平成30年10月15日（月）

情報交換会：参加費 5,000円（定員100名）、参加申込締切平成30年10月8日（月）

第1部 招待講演 10:00～12:15

1. 「土壌病対策のための植物根・土壌の診断法開発とその利用」

秋田県立大学生物資源科学部 教授 古屋廣光 氏

2. 「光による植物微生物相互作用の解明と賢い農業のための光生態学のすすめ」

佐賀大学農学部 教授 鈴木章弘 氏

第2部 戦略的イノベーション創造プログラム成果報告 13:15～15:25

3. 「植物共存細菌の分子生態学的研究を活用したジャガイモそうか病防除の可能性」

鹿児島大学農学部 教授 境 雅夫 氏

4. 「ジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場環境研究室 室長 森 清文 氏

5. 「有機物資源の循環を通じた微生物制御による土壌病害防除技術の開発」

片倉コープアグリ株式会社筑波総合研究所 上席主任研究員 三星暢公 氏

第3部 特別講演 15:25～16:50

6. 「メタボロミクスによる作物・農産物の成分多様性に影響する環境要因の評価と農学・食品科学のパラダイムシフト」

農研機構食品分析部門 上級研究員 関山恭代 氏

7. 「農業微生物研究からの自然共生型農業への展望—総合討議・質疑応答」

片倉コープアグリ株式会社 技術顧問 野口勝憲 氏

主催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター

参加申込み・問い合わせ先

北農研・大規模畑作研究領域・池田成志
〒082-0081

北海道河西郡芽室町新生南9線4番地

TEL：0155-62-9276、FAX：0155-61-2127

E-mail：tokachi@ml.affrc.go.jp

